



コシヒカリの苗がいっぱい。美味しいお米に育ちますように！（JA 兵庫六甲猪名川営農支援センター）

特集 学校法人あけぼの学園「六瀬ほしのさと小学校」開校 猪名川町公式
ホームページ



TOPICS

- P 6 窓口・電話受付時間が変わります&省エネ家電製品の購入をサポート！
- P 7 令和9年4月1日採用町職員募集&新たな防災気象情報
- P 8 ぶらりいながわ エディ工房
- P22 特派員報告 つながり育てる「通いの場」
- P24 瞬トキメキ 桧山 征翔さん

町の人口

総人口	27,964人	(-30)
男	13,285人	(-17)
女	14,679人	(-13)
世帯数	12,464世帯	(-5)

※令和8年5月1日現在、()は前月比



通学の様子（日生中央駅）

地域資源の活用を通して
 六瀬ほしのさと小学校が開校した町北部は自然環境に恵まれた地域です。
 周辺には農地や里山、河川など豊かな自然環境に囲まれ、農業体験や自然観察といった、地域資源を生かした学びの環境が整っています。また、ふるさと館や環境交流館、大野アルプスランドなど、多様な自然体験施設にも恵まれており、地域全体が「学びのフィールド」となっています。

一方、地域の課題としては人口減少や少子高齢化などに起因し、空き家の増加や路線バスの減便など様々な課題を抱えています。そのような中、児童の多くが通学に路線バスを活用することで、地域公共交通の利用促進にもつながっており、学校が地域インフラを使う新たな利用者としての役割も期待されています。
 近年は、自然豊かな環境の中で子育てや教育を求める「教育移住」への関心も高まっており、学校をきっかけに地域外から人が訪れ、移り住む流れも生まれつつあります。
 このように、六瀬中学校跡地の活用は、単なる学校設置にとどまらず、新たな交流人口・関係人口の創出や地域活性化につながる取り組みとして期待されています。学校を核に、人と地域がつながり、新たな価値を生み出すまちづくりが始まっています。



学校 DIY の様子



令和4年3月末で閉校した笹尾地内にある六瀬中学校跡地を活用し、令和8年4月に学校法人あけぼの学園が、新たな私立小学校「六瀬ほしのさと小学校」を開校しました。
 廃校施設を有効に活用するとともに、学校の運営のみならず、地域と連携を図ることで新たな価値を創出するなど、「学校を中心とした住み続けられるまちづくり」をテーマにした取り組みを紹介します。

▶問合せ 都市政策課 まちづくり推進室 (☎ 766-8712)

特集

六瀬中学校跡地を活用 学校法人あけぼの学園 「六瀬ほしのさと小学校」が開校



六瀬ほしのさと小学校
 藤田 美保 校長

「認定 NPO 法人コクレオの森」の代表理事も務める。同法人は大阪府箕面市で20年にわたり「こどもが学びの主人公」をコンセプトに小・中学生に教育を実践。

「こどもたちの学びと 地域の暮らしをつなぐ場所を目指して」

新しい小学校を創る場所を探していた私たちは、自然豊かな環境と都市部へのアクセスの良さ、そして町の意思決定の速さに心強さを感じ、この地に学校を開く決断をしました。廃校となった校舎を活用することで、地域の資源を教材化し、こどもと地域の皆さんが日常的に触れ合える学びの場をつくり、共に学ぶ体験型教育を目指し、こどもの主体性を育む民主的な学びを重ねていきたいと思っています。

また、教育移住を促進し、地域経済や文化の循環を生み出すとともに、店舗・交通の活性化にもつながることを期待しています。

開校して間もない現在、送迎の安全確保や新しい環境への適応など課題も生じており、もう少し時間はかかりますが、これからは地域の公立学校との連携も深めるなど、六瀬ほしのさと小学校の教育を地域へ発信していきたいと考えています。



入学を祝う会

「六瀬ほしのさと小学校」開校
 町は、令和6年3月に六瀬中学校跡地を活用する事業の募集を行い、学校法人あけぼの学園、認定NPO法人コクレオの森の両法人が連携し、私立学校を設立する「学校を中心としたまちづくり事業」を選定しました。
 令和8年4月には町内では初めて、兵庫県内では14年ぶりの新設私立小学校となる「六瀬ほしのさと小学校」が開校。旧六瀬中学校閉校から3年間の時を経て、1学年20人、全校生徒120人定員の新たな小学校へ生まれ変わりました。
 4月より1〜3年生53人が通う同校では、少人数教育の特徴を生かし、一人ひとりの興味や関心を大切にされた対話・体験型の学びを展開。町北部の自然や地域資源を教材として活用するなど、こどもたちが主体的に考え、多様な価値観を学べる環境づくりを進めています。

自分の世界が広がる 図書・交流スペース



六瀬ほしのさと小学校では、実体験のなかで芽生えた疑問や関心をさらに深め、学びへとつなげていくためには、本との出会いが欠かせないと考えています。ワクワクする物語や、ドキドキする冒険、調べたいことを手に取ってすぐ調べることができる図鑑や専門書などが、こどもたちのすぐそばにある空間をデザインしています。

「教育を通じて、 人と地域の循環を生み出したい」

猪名川町で小学校を創ることの決め手は長年の夢である「小学校を創りたい」という思いと、「教育の大切さを発信したい」という使命感、そして町が進める「地域に新たな価値を」という思いへの共感でした。豊かな自然環境、関係者の熱意、そして行政のサポート体制が、この地での開校を確かなものにしました。

少子高齢化が進む町北部では、「こどもの声が少なくなった」という状況があったと聞いていました。まちづくり協議会や自治会など、地域の皆さんとの対話と交流を重ねる中で、こどもたちの声が地域に戻ることへの温かい期待を肌で感じることができました。子育て世代を呼び込み、地域を活性化させるための起爆剤として、私たちは教育の力を信じました。

これから持続していくためには、学校だけでなく地域全体が魅力的であることが不可欠です。「六瀬ほしのさと小学校」が地域に開かれた学びの場となることで、こどもたちと地域住民の新たなつながりが生まれ、子育て世代の移住を促進し、地域に活気と笑顔をもたらすことを願っています。



学校法人あけぼの学園
安家 匠 副理事長

学校法人あけぼの学園副理事長兼あけぼの幼稚園園長。同法人は大阪府豊中市で70年にわたり「主体性」を育む保育・教育を実践。

六瀬中学校 跡地活用の経過

令和4年3月	六瀬中学校閉校
10月	サウンドディング型市場調査の実施
令和6年2月	跡地活用事業者選定委員会の設置
3月	募集要項の公表
6月	優先交渉事業者の決定
9月	基本協定の締結
令和7年2月	建物無償貸付契約の締結（議会同意）、 土地賃貸借契約の締結
3月	兵庫県私立学校審議会 諮問 兵庫県私立学校審議会 答申
令和8年3月	兵庫県知事による設置認可
4月	六瀬ほしのさと小学校開校

**地域の未来を共に育てる
パートナーとして**
町は、令和4年に六瀬中学校が閉校して以降、一日でも早い活用を目指し、跡地活用の取り組みを進めてきました。学校法人あけぼの学園による新たな私立小学校の設置は、地域外から多くの人を呼び込むもので、人口減少に伴う多くの地域課題への一助になることが期待され、町も連携し取り組んできました。



まちづくり推進室
山田 室長



この度、関係団体、地域の皆さんのご理解とご協力により無事に開校することができ大変うれしく思います。今後は、学校に通うこどもたちとその家族が、本町での新たな出会いや生活を通して、町に愛着を持ち、まちづくりに参画していただくことで、地域がますます活性化することを願っています。

学校と地域の絆

六瀬中学校の廃校に寂しさを感じていましたが、六瀬ほしのさと小学校の開校は地域の明るさの再生だと感じています。入学式でこどもたちが自分で通いたいと決めたという姿は特に印象的でした。学校が再び使われ、人の動きと新たなつながりが生まれ、活気が戻りつつあります。自治会行事を学校と共有し、こどもたちが地域行事に参加することで、元氣と交流が広がることを期待しています。今後は自然や農業体験を通じて地域社会を支える人材を育てる学校となり、地域の魅力を発信する存在になってほしいです。



菅尾自治会長
久保 直之さん

新たな学校での教育と 家族での移住

六瀬ほしのさと小学校のスタッフを選んだのは、自然と地域のつながりを学びの基盤にできると考えたからです。実際の授業では自然を教材にした活動を多く取り入れることができている。また、「学校を中心とした住み続けられるまちづくり」にも共感し魅力を感じました。

私も家族で猪名川町へ移住しました。家族と日常生活するための利便性も高く、子育て環境としても良く満足しています。六瀬ほしのさと小学校だけでなく、猪名川町の魅力も発信していきたいと思えます。



六瀬ほしのさと小学校
矢吹 卓也 スタッフ

みんなの写真を紹介!

SNS 発信中!



猪名川天文台



仕事前の際間時間

猪名川町公式 SNS をフォローしているアカウントで「#猪名川町」や「#猪名川町を知ってもらおう大作戦」のタグ付けのある投稿の中から、素敵な写真をご紹介!

町公式 SNS はコチラ!
最新情報発信中!



Facebook
@town.inagawa



Instagram
@inagawa_official



あなたの力で、
まちの明日をもっとよく

令和 9 年 4 月 1 日採用 町職員募集

- 受付期間 = 6 月 1 ~ 20 日 17:30 まで
- 職種 = 事務職 7 人、技術職 (土木) 1 人、技術職 (建築) 1 人、作業員 (技労) 1 人
- ①面接 = 7 月 4 日 (土) ②総合能力試験 = 7 月 5 ~ 21 日に希望するテストセンターへ各自申し込みのうえ受験
- 町ホームページより総務防災課 (☎ 766 - 8708)

詳細はこちら



新たな防災気象情報

気象庁は、5 月 29 日から防災気象情報の運用を見直し、大雨などの防災気象情報を変更します。

新たな防災気象情報では、河川氾濫・大雨・土砂災害・高潮の 4 つの現象について、警戒レベルと整合した数字をつけて発表することで、避難のタイミングが分かりやすくなります。

レベル 5 は、すでに災害が発生しているか、もしくは切迫した状況のため、レベル 4 までに危険な場所から避難することが重要です。

レベル 3 警報やレベル 4 警報が発令されましたら、役場からの避難情報に留意いただき、早めの避難を心がけてください。

総務防災課 (☎ 767 - 1207)

詳細はこちら



5	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル 5 相当	レベル 5 氾濫特別警報	レベル 5 大雨特別警報	レベル 5 土砂災害特別警報	レベル 5 高潮特別警報
警戒レベル 4 相当	レベル 4 氾濫危険警報	レベル 4 大雨危険警報	レベル 4 土砂災害危険警報	レベル 4 高潮危険警報
警戒レベル 3 相当	レベル 3 氾濫警報	レベル 3 大雨警報	レベル 3 土砂災害警報	レベル 3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル 2 氾濫注意報	レベル 2 大雨注意報	レベル 2 土砂災害注意報	レベル 2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			

時 所 内 講 対
定 員 料 金 他 その他 申 込 問 合せ

窓口時間・電話受付時間が変わります

労務環境の改善と職員の働き方改革を推進するため、窓口の受付時間と電話受付時間を変更します。短縮により生み出した時間を職員間の情報共有や課題解決、政策の企画立案などに充てることで、業務の生産性を高め、住民サービスのさらなる向上につなげていきます。

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

総務防災課 (☎ 766 - 8708)

変更開始日

10 月 1 日 (木) から

対象施設

役場本庁舎・第 2 庁舎、日生住民センター、ふらっと六瀬、クリーンセンター、保健センター、子育て支援センター、こども家庭センター

窓口・電話受付時間

変更前 午前 8 時 45 分 ~ 午後 5 時 30 分 → 変更後 午前 9 時 00 分 ~ 午後 5 時 00 分

便利なコンビニ交付サービスをご利用ください

コンビニ交付サービスは、マイナンバーカードと 4 ケタの暗証番号 (利用者証明用電子証明書) を利用して、コンビニなどの端末 (マルチコピー機) で住民票などの証明書を取得できるサービスです。庁舎窓口での交付に比べ、手数料は 100 円安くなります。

【利用時間】

土日祝日含め午前 6 時 30 分から午後 11 時 00 分 (12 月 29 日 ~ 1 月 3 日、メンテナンス日を除く)

詳細はこちら



省エネ家電製品の購入をサポート!

猪名川町では、省エネ性能に優れた家電を購入された住民の皆さまへ、その費用の一部を補助することで、住民生活を応援するとともに地球温暖化対策を推進します。

省エネ家電を利用することは、消費電力の削減となり、電気代の節約となるだけでなく、電気を発電する際に排出される CO₂ も削減されるため、地球温暖化の防止効果が期待できます。

農業環境課 (☎ 766 - 8709)

まずは町内販売店で
購入・設置!

その後

農業環境課へ申請



詳細はこちら



対象商品

省エネ基準達成率
100% 以上の

- エアコン
- 冷蔵庫
- 冷凍庫
- テレビ
- LED 照明器具



補助種別・申請期間 ※期間中に購入・設置のものに限る

- ◆いなぼう Pay (デジタル商品券) で補助 → 6/1 ~ 7/31
- ◆現金で補助 (振込) → 6/1 ~ 1/29

補助金額

- ◆合計 15 万円以上 (税抜) の購入で 3 万円を補助
- ◆合計 10 万円 (税抜) 以上 15 万円未満 (税抜) の購入で 2 万円を補助
- ◆合計 5 万円 (税抜) 以上 10 万円未満 (税抜) の購入で 1 万円を補助

いなぼう Pay は
補助額 5% UP!